

こんにちは

横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

2022年8月31日号【市政報告】

日本共産党神奈川区事務所  
横浜市神奈川区西神奈川3-2-17  
電話：045-491-6843  
FAX：045-491-6892  
<http://www.usami-sayaka.jp//>



宇佐美 さやか です

# 2027花博計画は抜本の見直しを

## 花博協会に申し入れ

8月24日、日本共産党横浜市議団は、国際園芸博覧会協会に対して、2027年に旧上瀬谷通信施設地区で開催予定の国際園芸博覧会＝花博について、入場者目標の大幅な引き下げなど12点にわたる計画案の具体的な見直し等を求める提案・申し入れを行いました。

## 有料入場者1000万人/半年 過大すぎる 貴重な自然・地形を守る計画に

申し入れでは、みわ智恵美議員は、花博開催について当地の開発によって残されている貴重な自然が失われるのではないかと、公的負担が過大すぎるなどの不安と心配の声が反対の声とともに届いていると述べ、半年で有料入場者数1000万人を基にした計画を見直すことの必要性を強調しました。

あらき由美子団長は、現存している素晴らしい自然と、地形が生かされた花博会場になるのか、市民の関心の多くがそこにある。手が入りすぎたものは自然とは言えず、原風景を思い起こすものを期待したい。そして、行列が出来るような催しは、花博のテーマと沿わない。来場者数を大幅に減らし、ゆったりと自然を楽しむ趣旨の花博をと述べました。

脇坂隆一推進戦略室長は、9月の上旬に現在開催されているオランダ・アルメーレの園芸博覧会の視察を予定している。コロナ禍により、各国の出展ブースの遅れが報告されている。見積通りに行かない事態など、多分なケースをしっかりと観てくると述べました。

また、吉田雅彦総務部長からは、来場者の方が入場ゲートをくぐった時に「素晴らしいな」と思って



申し入れを行う党市議団

もらえる様な場所の良さを生かす広がりを実現したい。コストとのにらめっこの日常であるが、中身のある、満足度の高い内容を目指している。交通の課題等もあるが、まずは地元の方々から喜ばれて何度も足を運んでもらえるような花博を目指したいと述べました。

申し入れの項目は下記の3つなど12点です。

詳細は党市議団ホームページ

(右QRコード)をご覧ください。



1. 有料入場者数は、オランダ・アルメーレの園芸博覧会開催に学んで、大幅に減ずることを検討すること。
2. 会場建設費を320億円と見積もり、このうち3分の2を国と市・県が負担し、残りの3分の1を民間が負担するとしていますが、民間負担については保証はされていません。会場の在り方・設営などSDGs未来都市にふさわしい動植物の重要な種をはじめ、生態系を保全するための環境保全措置として、現状の地形等をいかした会場づくりに取り組み、その後の公園にも生かされるようにすること。建設費については大幅に見直し削減すること。
3. 360億円とされている運営費は、過去博の運営から算出されているものです。有料入場者1000万人の入場料と物販で賄うとしていますので、改めて規模と共に運営費は見直すこと。など12項目。